

【 提案事項 】

霧島市内における「子どもの貧困に関する実態調査」を求める

（ 提案理由 ）

昨今、深刻な社会問題としてクローズアップされ、各界において物議が醸し出されている“子どもの貧困”問題についての実態調査を求める。

その実態調査の調査結果の分析を詳細に行い、本市「子ども子育て会議」の設置目的である『子ども・子育て支援に関する施策を調査審議するため』の審議資料が欲しい。

その結果をもって、本市の「子ども子育て支援事業計画」の見直しに資して、より質の高い事業計画に修正する必要がある。

2013年6月に「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が成立し、翌年の2014年8月には「子どもの貧困対策に関する大綱」が制定されているが、しかし、改善のための数値目標と具体的な改善策は示されていない。

確実な把握はしていないが、大阪・沖縄においては、「子どもの実態調査」が実施され、結果、条例化され、具体化されたとかと漏れ聞いています。霧島市は県内2番目に大きな自治体であると自負もしていることを踏まえて、実態調査を行ってほしい。

具体的に霧島市内における“子どもの貧困”の有無を量的質的の両面からの実態をリアリティをもって把握し、前市長も表明したし、現市長も公約として表明している、【霧島市に住んで「子育てし易い霧島市」の実現】に資さなければならぬとおもうので、是非、実施して下さることを切に望みます。

提案者 委員； 加 来 宗 暁